

鞍手地区点検評価委員会の意見書

平成27年 8月21日

鞍手町教育委員会 殿

点検評価委員会

委員 福岡教育大学教授

豊島啓司

委員 宮若市

大和秀夫

委員 鞍手町

川波英一

委員 小竹町

高津秀正

平成26年度の貴教育委員会の運営状況について、点検及び評価をしましたので、別紙のとおり意見を報告いたします。

別紙

	点検及び評価に関する委員会の意見
教育委員会の開催状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の運営及び委員活動については、概ね良好に実施運営されている。
教育施策の主要施策の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 来年度からの新教育課程実施に向けて、道徳教育推進委員会や全小中学校教職員を対象にした研修会など、学習指導要領の改訂に沿った取組を引き続き継続していただきたい。 ○ 全国的に教職員の残業等勤務条件の厳しさが取り上げられている中、定時退校日・部活動の休止日など取組をされているので、超過勤務の適切な処理や縮減に向けた取組を引き続き継続していただきたい。
取組・事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ パソコンを教員1人に1台配置を行い、パソコン本体やUSBでの個人情報の持ち帰りを禁止するなど、個人情報の保護など今後も取組を続けていただきたい。 ○ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置をして児童生徒のいじめや不登校など問題解決に取り組みがみえる。今後は、教職員のストレスに対応した取組も視野に入れていただきたい。 ○ 「子どもフェスタくらて」では、児童のグループが思い思いの企画を立案しフェスタを運営していることは大変良いことだと思う。今後は、フェスタ開催後の反省会などを活かして、子ども達がより主体的に活動できるように、支援していただきたい。

別紙様式 2

平成 26 年度 教育委員会点検評価書

	事業の区分	事業の内容及び状況並びに評価									
教育委員会の開催状況	【定例教育委員会】	開催回数 <u>12回</u> 、議案件数 <u>56件</u> (議案内訳) 条例・規則等 <u>6件</u> 、予算案 <u>1件</u> 計画・方針等 <u>29件</u> 、人事案 <u>7件</u> その他 <u>13件</u>									
	【臨時教育委員会】 平成 26 年 8 月 8 日 (案件：教科用図書採択についての審議) 平成 27 年 3 月 25 日 (案件：人事案件についての審議) 【その他】 【学校訪問・委員研修会等】	<table border="1" data-bbox="663 878 1315 1126"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>実施回 (日) 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校訪問</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>県□地教委□催研修□</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>総会、入学・卒業式、発表会</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>学校開放</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	内 容	実施回 (日) 数	学校訪問	3	県□地教委□催研修□	7	総会、入学・卒業式、発表会	19	学校開放
内 容	実施回 (日) 数										
学校訪問	3										
県□地教委□催研修□	7										
総会、入学・卒業式、発表会	19										
学校開放	5										
教育施策の主要施策	① 学習指導要領の趣旨の徹底と実践に努める	○ すべての小中学校に、「学校関係者評価」「自校評価」を教育委員会に報告させ、点検評価を学校運営に活用している。 ○ 特別支援教育への積極的な取り組みが求められるなか、教育委員会としては、特別支援学級のある小学校 6 校に 9 名、中学校 2 校に 4 名の教育補助員を配置し、年に 3 回野外生活指導として、小中合同で乗馬体験や社会見学及び交流会等を行っている。									
	② 学習指導の充実を図る	○ 小学校では、毎年指定される学校が研究発表を行うことで、児童の基礎学力の向上及び教職員の資質向上の推進に貢献している。また、小・中学校では ALT による英語授業を行っており、児童生徒の基礎学力の向上に繋がっている。 (平成 26 年度は新延小学校が発表) ○ 全国学力学習状況調査・福岡県学力調査を実施し、その結果を踏まえて、学力向上検証委員会・学力向上推進委員会等を行い、各学校での課題や成果を見つけ、学力向上への取り組みを行っている。									

<p>③生徒指導の充実に努める</p>	<p>○ 心の充実を図るため、中学校にスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置して、家庭との連携を強化しているが、いじめ、不登校が社会問題化する中で、児童生徒の道徳性の向上等に、より一層力を注ぐ必要がある。特にいじめ、不登校については定例校長会で議題やその他に毎回取り上げて取り組んでいる。</p>
<p>④健康・安全指導の充実に努める</p>	<p>○ 各小中学校において、体力向上プランを作成し体力向上の取組を進めている。また「1校1取組」を作成し、重点化した実践を行った。</p>
<p>⑤教職員の研修活動の促進と資質の向上を図る</p>	<p>○ 鞍手地区教育研究所部会において、各教科部会での協議・研究会の積極的な参加を推奨し、教職員の資質の向上に努めた。</p> <p>○ 小中連携事業として、各中学校単位で、授業の公開、分科会を行い、小中学校間の連携を強めた。</p>
<p>⑥教職員の職務遂行とサービスの厳正化に努める</p>	<p>○ 校内研修や県教育委員会の研修会に積極的な参加を促し、交通事故及び飲酒運転の防止、わいせつ行為、政治的行為、個人情報 の適切な取扱い、その他信用失墜行為など、綱紀の厳正な保持について取組を行っている。</p>
<p>⑦教育諸条件の整備充実に努める</p>	<p>○ 小学校では、剣南・古月・西川・新延小学校の体育館耐震補強工事の実施設計、古月小学校「ジャングルジム修繕工事」、室木小学校「体育館渡り廊下屋根修繕工事」、各小学校において「遊具修繕工事」などを実施。また、中学校では、校舎改修、体育館、グラウンド、プール、野球場、テニスコート、太陽光発電設備、外構工事など開校に向けた工事を行った。その他には小・中・高校の緊急的な修繕工事などを施工したことにより、施設環境の整備が図られた。</p>
<p>⑧学校週5日制の対応を図る</p>	<p>○ 各小学校区より30名の実行委員が、10回の実行委員会を開催し、さまざまな体験型イベントを計画し「子どもフェスタくらて」で実施した。</p> <p>○ 学校、家庭、地域との連携のために、様々な機会を捉え、広報活動を行っているため、学校・家庭・地域との連携は徐々にとれています。</p>

<p>⑨学校給食の衛生管理と指導の徹底を図る</p>	<p>○ 鞍手町学校給食衛生管理マニュアルを、朝礼・終礼時等様々な機会に再確認・指導を行なった。また、直鞍地区や鞍手地区等で開催されている調理従事者研修にも積極的に参加し、個々の衛生管理意識の向上に努めた。</p> <p>○ 児童生徒が望ましい食習慣や生活習慣を確立できるよう、学校における指導を継続するとともに、保護者対象の試食会や講和などをおして家庭との連携を図ることが出来ました。</p>
<p>⑩社会教育振興のための諸機関の完全機能化に努める</p>	<p>○ 啓発活動や講演会等を実施し、男女共同参画社会の実現に向け積極的な取組みを進めることができた。</p> <p>● 公民館、体育施設などの公共施設は老朽化が進んでいるが、厳しい財政事情中、地域住民が安心して利用できるように、修繕、改修工事箇所の優先順位を検討し、順次、利用環境の改善に努める。</p> <p>○ パソコン講座は機器が旧型であるため、メンテナンスができないことや、インターネットの利用に関する講座が実施できないことから、平成27年度からは講座を廃止した。今後はパソコン講座の民間移行を含め、講座開設について検討する。</p>
<p>⑪生涯学習まちづくりの推進に努める</p>	<p>○ 地域公民館の今後の在り方について情報の共有を図るため、各自治公民館との連携を促進し、視察研修（大分県日出町）や研修会を実施した。また自治公民館を活用した事業に活性化補助金を助成することで(猪倉、城ヶ崎などの4ヶ所)、利用の促進を行っており、少しずつではあるが、その効果が見られる。今後も研修や活性化補助金の助成を勧め、自治公民館の活動の支援に努める。</p> <p>● 図書カード保有率は、一定の成果は見られるが、図書室へ行き来する地理的要件から、図書室を利用している小学生は公民館周辺の一部の小学生のみである。各小学校と連携して子ども達が積極的に読書を行う意欲を高めることが、今後の課題である。</p> <p>● 公民館まつりでは、各種サークル活動の成果が発表された。近年サークルの固定化や会員数がやや減少する傾向にある。公民館事業の推進と合わせ、公民館サークルの内容充実を図る。</p>

<p>⑫ 青少年の健全育成に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年の健全育成に向け、地域と連携しながら、青色回転灯防犯パトロール活動や青少年育成町民会議講演会の開催等の事業を実施することができた。 ○ 地域の子どもの教育力向上、及び健全育成のため、子ども会と保護者が一体となった自主的な活動を行うことにより、その効果が徐々に現われた。 ○ 土曜学習として、年間15回の自学自習の「くらて寺子屋」を実施した。平成27年度は回数を20回に増やし、昨年と同様に地域のボランティアの協力を得ながら実施する。
<p>⑬ 生涯スポーツの振興に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットによる施設予約等により、住民サービスの向上につながった。 ● 町体育協会では11団体669人が会員として活動しているが、団体によっては会員の減少により、活動の低迷がみられる。また、町民が一堂に集まり、親睦を深め、スポーツを行える町民体育祭を開催してきたが、昨今出場者が減少傾向にあり、実施内容について今後検討が必要である。 ● 町民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康で楽し暮らしていけるような施設の提供及び管理運営をしているが、各施設の老朽化が進み、一部修繕、改修工事の箇所が多くみられるため、今後も計画的な修繕工事が必要である。

<p>⑭豊かな文化的環境 づくりに努める</p>	<p>○ 博物館では、2回の企画展を開催した。9から11月にかけて企画展「ふるさと鞍手のコケ散歩」を、2～3月にはギャラリー展示「古布の華やぎ」を開催した。企画展ではコケ観察講座（2回）・コケ玉づくり（2回）ロビーでのギターコンサートなどのイベントを行い、町内外から総数1839人の来館者があった。今後も企画展の内容充実をめざし詳細な調査を行い、わかりやすい展示を心がけ、新たな企画に取り組んでいく。</p> <p>○ 平成15年度に完了した史跡古月横穴の整備は10年が経過し、修復箇所が出てきたため、平成26年度より4年間の保存修理事業を行うこととなった。遺構の表面の補修や繁茂した樹木の環境整備が主な内容である。日常的管理を含め、小学校の地域学習などの史跡の活用をこれまで以上に推進することが今後の課題である。</p> <p>○ 樹齢五百年以上とされる十六神社のクスノキの劣化部の保存修理を行った。保存修理部分も含め、長期的な経過観察が今後の課題である。</p> <p>● 文化連盟などの自主的文化団体の活動は、毎年「芸能まつり」、「美術展」、「舞踊協会定期公演」「三桜会定期公演」など大きな事業を行っているが、一部の団体では会員の高齢化が急速に進んでいることから、事業の衰退が懸念される。今後は幅広い年齢層への文化活動の推進を計ることを検討しなければならない。</p>
<p>⑮人権教育・人権啓発 の推進強化</p>	<p>○ 小学生・中学生を対象として人権子ども会を実施し、学習や体験活動を通して人権啓発の充実あるものにすることができた。今後も継続していく。</p> <p>● 地区懇談会は年々参加者が減少しているため、講座が開催しやすいように、地域の方々が選択できる講師の枠を増やしたり、開催期間を7～11月に延長したりしたが、参加者は前年度より21人少ない623人であった。平成27年度はさらに、地域の方々が生徒と一緒に受けることのできる講座の開設など学校行事と連携した事業の取り組みや講座を平日の夜でも開設できるような環境を提示し、参加者が増加する工夫を行っていく。</p>

取組・事業の状況	主な実施事業	関係総予算額	評 価
	特別支援員 (なかよし学級補佐)	千円 14,785	小学校6校に9名、中学校2校に4名の特別支援員を配置し、支援を要する複数の児童生徒に対し、教育的効果を上げた。
	基礎学力実態調 (小・中)	880	基礎学力の実態調査を行ったことにより、児童生徒の学力の状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立っている。
	国際理解教育 (ALTの雇用)	4,728	小学校及び中学校にALTを派遣することにより、英語に対する基礎学力の向上につながっている。
	図書購入(小・中)	3,384	図書充足率100%を目指して、学校図書の整備を図ることができた。
	スクール アドバイザー派遣	300	小学校6校・中学校2校に対し、各校年2回スクールアドバイザーを派遣しており、児童生徒の問題解決に効果を上げている。
	町研究指(新延小発表)	1,301	毎年指定される学校が研究発表を行うことで、児童の基礎学力の向上及び教職員の資質向上の推進に貢献している。
	学校教育施設工事 (小・中・高)	3,769	小学校では、室木小学校体育館渡り廊下屋根、古月小学校のジャングルジム設置工事を行った。
	鞍手町立小学校 耐震補強工事設計業 務委託	17,258	剣南・古月・西川・新延小学校の屋内運動場棟耐震補強工事の設計を行った。
新中学校校舎改築等 整備工事 (26年度支出済分)	2,085,791	平成27年4月開校の鞍手中学校校舎改築及び屋内運動場・グラウンド等付帯設備の工事を行った。	

学校教育施設修繕 (小・中・高)	14,995	小学校6校、中学校2校、豊翔館の施設の修繕を行うことにより、施設環境の整備に努めた。
子どもフェスタ くらて	267	子どもたちが企画・運営を行うことにより、一人ひとりの個性が発揮でき、仲間との連帯感が生まれる等、効果が現れている。
社会教育施設修繕	27,704	施設擁壁改修工事、武道場シャッター改修工事 体育館暗幕取替え工事、中央公民館第1研修室舞台照明修繕工事などを行い、利用者の利便性を図っているが、施設の老朽化が進み、毎年修繕工事に取り組んでいる。
施設管理委託	6,767	厳しい財政事情の中、施設委託の経費節減に努める。
文化連盟育成補助	400	町内の芸術文化活動は、ここ数年少子高齢化が進み活動が衰退しており、後継者不足と若い人材の確保が早急の課題である。
自治公民館育成費 補助金	770	自治公民館では急速に少子高齢化が進む中、独自に創意工夫し、活性化に努めている。自治公民館は生涯学習を推進する最も身近な活動拠点であり、今後も自治公民館活動を支援していく必要がある。
青少年育成費補助	1,040	地域と学校が連携して行う活動である。今後も継続活動を行う必要がある。
子ども会育成補助	160	子どもが年々減少しているが、時代に対応した子どもの活動を支援していくことが必要である。
スポーツ推進委員	360	町内の各体育行事の普及活動に尽力していただいております。町民の健康増進の観点からも不可欠な存在である。

	町体育協会補助	9 1 1	長年続く町内の体育行事に対して、全町民の健康増進のため協力していただいております、不可欠な存在である。
	文化財保護団体助成	1 4 4	地域の歴史資産や伝統芸能を継承する重要な役割を持っており、今後においても必要な団体である。
	人権・同和問題担当者啓発冊子・研修会講師謝金等	9 7 5	人権問題地区懇談会は、同和問題をはじめとしたあらゆる差別を根絶するために重要な事業であるが、参加者が減少傾向にあり、開催内容の工夫が必要である。
	少年期啓発の人権・体験学習活動講師謝金等	8 1 6	人権子ども会において、異年齢の子ども同士が人権学習活動・体験学習活動に取り組むことにより少年期の人権啓発が高められた。